

ゴールデンハムスターのトイレ対策

『地下型の巣箱』方式

ゴールデンハムスターなどの大型種の場合には、オシッコの量が多いので、トイレ対策を失敗すると、せっかくの『地下型の巣箱』が使えなくなってしまいます。

また、『地下型の巣箱』に住ませながら、その後でトイレの改善対策ができるジャンガリアンなどのドワーフ系と違って、ゴールデンの場合は、『地下型の巣箱』を与える前に、しっかりとトイレ対策をしておく必要があります。

『地下型の巣箱』で初めてゴールデンハムスター（大型種）を飼う方は、以下の対策例を参考にしてください。

●【穴あけタッパー内箱方式】

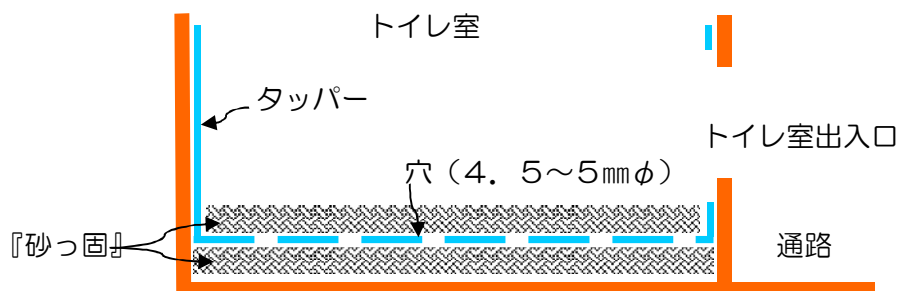
①トイレ内箱を作ります。

- 材料 : タッパーを使用します。
加工 : 底に約4.5~5mmφの穴を適当に開けます。
穴の間隔 : 15~20mm間隔くらいで良いです。
強度を保つ工夫をしてください。



②トイレ室にセットします。

- あらかじめトイレ室に『砂っ固』を1~2センチ程度敷いて置きます。
- トイレ内箱をセットして、更に『砂っ固』を敷きます。
- 下に残った『砂っ固』でオシッコを固めます。



《使い方》

毎日、タッパーの下の、オシッコのかたまりを取り除いて『砂っ固』を足します。

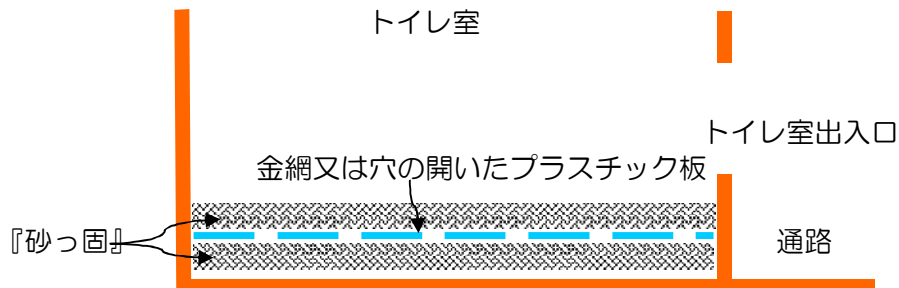
初期には、タッパーの中の『砂っ固』をバリケードの材料に使用してしまう場合がありますので、その場合はタッパーの下の『砂っ固』を増量してください。

バリケードは、初期の介入が原因の場合が多いので、バリケードを作らなくても済むようにするのが最優先です。

この様にして、『地下型の巣箱』内の清潔を保ちます。

●【金網・穴あき板方式】

一センチほど『砂っ固』を敷いて、その上に金網あるいは穴の開いたプラスチック板を置きます。その上にさらに『砂っ固』を敷きます。

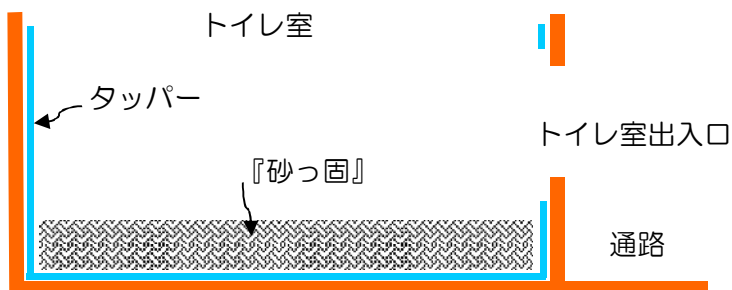


《使い方》
内箱方式と同じです。

●【タッパーそのまま方式】

ハムスターが『砂っ固』に慣れている場合なら、『砂っ固』を入れたタッパーをトイレ室にセットして置くだけで良いです。

また、上記の方法で、『砂っ固』に慣れてきたら、タッパーそのまま方式に切り替えることができます。



●【リスハムのトイレを内蔵する方式】

このために、G465型の『地下型の巣箱』のB室は120×120mmの寸法でできています。

- ① リスハムのトイレをまず地上に置きます。
- ② ハムスターはリスハムのトイレにオシッコをしますから、しばらくそのまま慣れさせます。
- ③ 『地下型の巣箱』G465をハムスターに与えるときに、②のトイレのをB室に設置します。

『地下型の巣箱』をもらったハムスターは、使い慣れたトイレ室が中にあるので、抵抗なく底をトイレ室にします。

